

西村山地域医療提供体制検討会  
におけるこれまでの意見等のまとめ

1 8/24 開催 第1回検討会

(1) 新たな医療提供体制の方向性について3案を提示

案1	県立河北病院と寒河江市立病院を統合して新病院を設置する。
案2	寒河江市立病院を中心に入院機能を集約して新病院を設置する。 (県立河北病院を無床診療所化)
案3	現在の医療提供体制を維持し各自治体が各々の病院を運営する。

(2) 各市町の意見

寒河江市	寒河江市のこれまでの要望の趣旨を十分理解していただいていると評価する。
河北町	県立河北病院の存続を前提として、これからの医療ニーズに応えられる機能分担や連携を考えるべきである。
西川町	西川町立病院は継続して設置・運営するべきであると考えている。
朝日町	朝日町立病院を継続して設置・運営していかなければならないと考えている。
大江町	新法人に加入するかしないかは大江町にとって重要な点であるので、検討を進めてもらいたい。

2 11/2 開催 第2回検討会

(1) 議論を先に進めるための提案として、県立河北病院と寒河江市立病院を統合し新病院を設置する案を提示

(2) 各市町の意見

寒河江市	新病院を設立する案に賛成する。新病院のあり方・体制・機能を示すべき。第1回検討会の案1を採用した説明が必要である。
河北町	第1回検討会の案1に絞ることに反対である。救急や村山地域全体の基幹病院との役割分担の視点等、丁寧に議論して欲しい。
西川町	町立病院を継続して設置運営したいが、財政的な面も含めて考えたい。
朝日町	朝日町立病院を継続して設置・運営していかなければならないと考えている。
大江町	県から示されたたたき台の案を含め、今後議論したい。